



高橋 秀明

- ① 幌延町における民間賃貸住宅建設支援事業について
- ② 除雪体制について
- ③ シルバー人材の活用と克雪による企業誘致の取り組みについて

幌延町における民間賃貸住宅支援事業について

質問▶人口が増えないことにより地方交付税の減や水道料金、医療費、食料品購入費の減少につながっている。

遠別町や豊富町での例を参考に町内の人口確保のために民間賃貸住宅建設支援事業を充実すべきではないか。

町長▶町では定住の促進と町内経済の発展の寄与を目的に、幌延町民営賃貸住宅建設促進助成条例に基づいた支援を行っている。他の自治体にも良い事例があるので商工会と連携のもと、現状に即した支援策を講じていきたいと考えている。

除雪体制について

質問▶異常気象に伴う除雪の遅れなどで町民の暮らし

に影響が出ていた。小型ホイールローダーで交差点などの除雪を行うことは出来なかったのか。

町長▶町内の除雪体制については各受託業者が情報共有を図り除雪している。ただ、吹雪や降雪量の多いときなどに大幅に時間が遅れる事があり、ご指摘の事案になった。

シルバー人材の活用と克雪による企業誘致の取り組みについて

質問▶町内会単位又はシルバー人材センターを設立、活用し、小型ホイールローダーによる除雪体制を整え、克雪の町をアピールすることで企業誘致にも繋がっていきと思うがどのような考えか。

町長▶シルバー人材センターに関しては地域活動を担う人材不足が顕在化してい

る中で、高齢者が意欲と能力のある限り地域社会で活躍し続けることが出来るよう、ボランティア活動とあわせて、関係機関と検討を進めている。冬期間の気象

行政報告▶町長

新型コロナウイルスの3回目の接種について、65歳以上の高齢者、施設入所者や従事者を対象に、2月下旬から3月5日までに希望者への接種を完了した。64歳以下の住民への接種については、2回目の接種が完了している住民の8割強の方々に対し接種が完了する見込み。

5歳から11歳までを対象とした小児接種についても、百回分のワクチンの配分があり3月6日に定員を50名として1回目を接種し、2回目は3月31日に実施する予定。



条件はその時々で大きく変動があることから、単に機械を保有するのではなく、持続的な運用がはかられる仕組みづくりが必要。

教育行政報告▶教育長

●学校教育

新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら、学年末のまとめや卒業式などに向けての学習活動に取り組んでいる。

幌延中学校吹奏楽部が稚内市で開催された令和3年度稚内地区管楽器個人コンクールに参加し2名が銀賞を受賞した。

●社会教育

1月5日に令和4年成人式を開催。参加は11名。
少年団活動では幌延ジュライズが第38回北海道小学生バレーボール選抜優勝大会において優勝したほか、当町出身の中学生が野球、バレーボールで全道、全国規模の大会で優勝した。これらの活躍に対し、スポーツ奨励賞が授与される。

■議案第2号

令和3年度一般会計補正予算

産業・地域振興センター空調設備改修事業1億4千万円の増、問寒別地区道営畑地帯総合整備事業1千5百91万2千円の増、大雪の影響による除雪業務委託料2千8百62万1千円の増、燃料費の高騰による各学校施設の燃料費及び光熱水費の増など。

外国人介護福祉人材育成支援について、要望どおり4月から2名の採用となるのか。

◎学生数と希望数との兼ね合いで、1名のみ今年4月からこざくら荘へ採用となる予定。

◎無人駅の維持管理業務が2百50万円の増額になった理由は。

◎ホーム下の除雪は専門的な技術が必要ということで、JRが管理しているが、年明けの大雪による作業量の増加により増額となった。